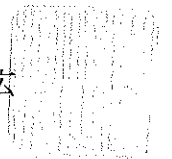


令和5年(2023年)3月8日付け札幌市告示第1111号の内容に係る訂正について、下記のとおり告示する。

令和5年(2023年)3月16日

札幌市長 秋元 克広



記

1 訂正する内容

札幌市告示第1111号別表の工事番号「23(下)第0026号」工事名「市債務負担行為豊平川処理区本通4丁目南ほか下水道新設工事」にかかる設計図書の一部を下記のとおり訂正し、入札日等を別表のとおり変更する。

2 設計図書の訂正箇所

別紙のとおり

3 担当部局

〒060-8611

札幌市中央区北1条西2丁目

札幌市財政局管財部契約管理課工事契約係

電話011-211-2442

## 電子入札

0	調達案件番号		2303002611
1	工事（業務）番号		23（下）第 0026号
2	工事（業務）概要	工事（業務）名	市債務負担行為 豊平川処理区本通4丁目南ほか下水道新設工事
3	入札参加資格の申請及び審査	審査方式	事後審査方式（入札参加資格の確認は落札を保留して行う。）
		申請書等提出期限（日）	開札日の翌日まで（審査順1位の落札候補者のみ）
		落札結果通知予定日	令和5年4月12日
4	入札及び開札の日時・場所等	電子入札案件区分	電子入札
		入札期間（年月日）	令和5年03月27日（08時00分～20時00分） 令和5年03月28日（08時00分～17時00分）
		開札予定日時	令和5年03月29日 09時30分
		場所	札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎14階財政局入札室
		提出方法	電子入札システムによること。
5	施行担当課及び電話番号	施行担当課	下）事業推進部管路保全課
		電話番号	011-818-3451

単-49号

### 1次単価表（金抜き）

単価適用年月	2023. 2
歩掛適用年月	2023. 2
労務調整-超過-規制	1.500-00800001000

名称	規格	単位	数量	摘要
表層【夜間】		単位	m2	数量
				1
表層（車道・路肩部）	1.4m以上3.0m以下 40mm 各種（2.30以上2.40t/m3未満） タックコート PK-4 全ての費用 再生細密粒度キヤップアスコン （13F55）（30%）ホリマ-改質AsⅡ型【夜間】	m2	1	
計				
単価				円/m2

単-50号

単価適用年月	2023. 2
歩掛適用年月	2023. 2
労務調整-超過-規制	1.000-00000002000

名称	規格	単位	数量	摘要
歩車道境界ブロック		単位	m	数量
				89
縁石布設替	再利用設置 2型(W=78kg) 各種(600-1000mm以下50-150kg未満) クラッシュラン C-40 生コンクリート各種 有り 混合B C-1	m	89	単-143号
コンクリート空積割増	空積割増 1回当たり：2.34×コンクリート空積割増加算額	回	2	単-144号
計				
単価				円/m

単-49号

### 1次単価表（金抜き）

単価適用年月	2023. 2
歩掛適用年月	2023. 2
労務調整-超過-規制	1.500-00800001000

名称	規格	単位	数量	摘要
表層【夜間】		単位	m2	数量
				1
表層（車道・路肩部）	1.4m以上3.0m以下 40mm 各種（2.30以上2.40t/m3未満） タックコート PK-4 全ての費用 再生細密粒度キ ャップ アスコン （13F55）（30%）ホ リマ-改質As II 型【夜間】	m2	1	
計				
単価				円/m2

単-50号

単価適用年月	2023. 2
歩掛適用年月	2023. 2
労務調整-超過-規制	1.000-00000002000

名称	規格	単位	数量	摘要
歩車道境界ブロック		単位	m	数量
				89
縁石布設替	再利用設置 2型(W=78kg) 各種(600-1000mm以下50-150kg未満) 無し 生コンクリート各種 有り 混合B C-1	m	89	単- 143号
コンクリート空積割増	空積割増 1 回当たり : 2.34×コンクリート空積割増加算額	回	2	単- 144号
計				
単価				円/m

単一65号

# 1次単価表（金抜き）

単価適用年月	2023. 2
歩掛適用年月	2023. 2
労務調整-超過-規制	1.000-00000002000

覆工		単位	m2	数量	
					20
名称	規格	単位	数量	摘要	
覆工板・受桁設置撤去工	設置 C付2.9t(2次)山0.8m3(平0.6m3)	m2	20	単一 165号	
覆工板・受桁設置撤去工	撤去 C付2.9t(2次)山0.8m3(平0.6m3)	m2	20	単一 166号	
覆工板開閉工	開け・閉め 推進作業	m2	944	単一 167号	
覆工板開閉工	開け・閉め 推進作業以外 C付2.9t(2次)山0.8m3(平0.6m3)	m2	20	単一 168号	
覆工板 鋼製	補強型 90日以内	m2・月	2.5		
覆工板（建設用仮設材賃料）	鋼製 183.0kg/m2 鋼製滑止加工費	m2・回	20		
H形鋼（山留主部材） 250～400型	90日以内 (80～200kg/m)	t・日	137		
覆工板（修理費及び損耗費）		m2	20	単一 169号	
H形鋼（山留主部材）（修理費及び損耗費）		t	1.8	単一 170号	
計					
単価				円/m2	

単一65号

# 1次単価表（金抜き）

単価適用年月	2023. 2
歩掛適用年月	2023. 2
労務調整-超過-規制	1.000-00000002000

覆工		単位	m2	数量	
					20
名称	規格	単位	数量	摘要	
覆工板・受桁設置撤去工	設置 C付2.9t(2次)山0.8m3(平0.6m3)	m2	20	単一 165号	
覆工板・受桁設置撤去工	撤去 C付2.9t(2次)山0.8m3(平0.6m3)	m2	20	単一 166号	
覆工板開閉工	開け・閉め 推進作業	m2	944	単一 167号	
覆工板開閉工	開け・閉め 推進作業以外 C付2.9t(2次)山0.8m3(平0.6m3)	m2	20	単一 168号	
覆工板 鋼製	補強型 90日以内	m2・月	50		
覆工板（建設用仮設材賃料）	鋼製 183.0kg/m2 鋼製滑止加工費	m2・回	20		
H形鋼（山留主部材） 250~400型	90日以内 (80~200kg/m)	t・日	137		
覆工板（修理費及び損耗費）		m2	20	単一 169号	
H形鋼（山留主部材）（修理費及び損耗費）		t	1.8	単一 170号	
計					
単価				円/m2	

# 1次単価表（金抜き）

単一70号

単価適用年月	2023. 2
歩掛適用年月	2023. 2
労務調整-超過-規制	1.227-30000001000

名称	規格	単位	数量	摘要
交通誘導警備員	24h 配置	単位	人日	数量
				1
交通誘導警備員B		人日	1	単一 173号
計				
単価				円/人日

単一71号

単価適用年月	2023. 2
歩掛適用年月	2023. 2
労務調整-超過-規制	1.000-00000002000

名称	規格	単位	数量	摘要
重建設機械分解組立輸送費		単位	回	数量
				1
重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送（往復） BH山1.0上1.4下コラム・テレ0.4上0.6下 標準（1.0）	回	1	単一 174号
計				
単価				円/回

# 1次単価表（金抜き）

単-70号

単価適用年月	2023. 2
歩掛適用年月	2023. 2
労務調整-超過-規制	1.227-30000001000

名称	規格	単位	数量	摘要
交通誘導警備員	24h 配置	単位	人日	数量
				1
交通誘導警備員B		人日	2.75	単-173号
計				
単価				円/人日

単-71号

単価適用年月	2023. 2
歩掛適用年月	2023. 2
労務調整-超過-規制	1.000-00000002000

名称	規格	単位	数量	摘要
重建設機械分解組立輸送費		単位	回	数量
				1
重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送（往復） BH山1.0上1.4下コラム・テレ0.4上0.6下 標準（1.0）	回	1	単-174号
計				
単価				円/回



## 特記仕様書（フレックス工期）

### ○ 主任技術者等の専任期間について

- 1 契約締結日から工事開始日の前日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要しない。
- 2 工事開始日から現場着手日までの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。

### ○ 工期について

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間と通常工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事しゅん功期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約を締結するまでの間に、別記様式1により、工事の始期及び終期を通知すること。

工事開始日までの余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

#### 【全体工期】

「契約締結期限日」から「令和6年3月25日」まで

#### 【積算上の通常工期】

「契約締結期限日」から「令和6年2月3日」まで

※契約締結日から工事開始日の前日までの期間は、当該工事現場の管理は発注者の責任において行う。

※契約締結期限日とは、告示別表「13 契約締結に関する事項等」に示す契約締結期限日のことをいう。

### ○ 施工時期、工事期間等による補正について

本工事は、工事開始日を契約締結期限日と設定し、工期の設定及び積算を行っている。

受注者が設定した工期に基づく契約により増加する経費は、受注者の負担とする。

### ○ CORINS への登録について

技術者の従事期間は、実工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないことに留意するものとする。）

### ○ 寒中コンクリート打設に係る防寒、加熱及び除雪費について

寒中コンクリートの養生費及び除雪費は、契約の実工期内における妥当な工程を契約締結期限日からの工程に置き換えて寒中コンクリートの養生及び除雪の必要が認められる場合、協議の上、設計変更できるものとする。

## 特記仕様書（フレックス工期）

### ○ 主任技術者等の専任期間について

- 1 契約締結日から工事開始日の前日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要しない。
- 2 工事開始日から現場着手日までの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。

### ○ 工期について

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間と通常工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事しゅん功期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約を締結するまでの間に、別記様式1により、工事の始期及び終期を通知すること。

工事開始日までの余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

#### 【全体工期】

「契約締結期限日」から「令和6年3月25日」まで

#### 【積算上の通常工期】

「契約締結期限日」から「令和6年2月10日」まで

※契約締結日から工事開始日の前日までの期間は、当該工事現場の管理は発注者の責任において行う。

※契約締結期限日とは、告示別表「13 契約締結に関する事項等」に示す契約締結期限日のことをいう。

### ○ 施工時期、工事期間等による補正について

本工事は、工事開始日を契約締結期限日と設定し、工期の設定及び積算を行っている。

受注者が設定した工期に基づく契約により増加する経費は、受注者の負担とする。

### ○ CORINS への登録について

技術者の従事期間は、実工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないことに留意するものとする。）

### ○ 寒中コンクリート打設に係る防寒、加熱及び除雪費について

寒中コンクリートの養生費及び除雪費は、契約の実工期内における妥当な工程を契約締結期限日からの工程に置き換えて寒中コンクリートの養生及び除雪の必要が認められる場合、協議の上、設計変更できるものとする。

10. 立坑関係

(1) No. \_\_\_\_ 立坑は本工事で築造するが、他工区が当該立坑に到達する場合の取り扱いについては、以下のとおりとする。

鏡切り工 \_\_\_\_\_

損 料 \_\_\_\_\_

(2) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

11. 推進工法関係

(1) 本工事区間における土質性状の最大礫径は 300 mm、礫率は 70~80 %を想定している。

(2) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

12. シールド工法関係

(1) 本工事区間における土質性状の最大礫径は \_\_\_\_\_ mm、礫率は \_\_\_\_\_ %を想定している。

(2) 本シールド工事は、発進立坑(到達立坑を含む)と、内径 \_\_\_\_\_ mm、施工延長 \_\_\_\_\_ m の一次覆工工事であるが、別途工事として引続き \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月頃に二次覆工延長 \_\_\_\_\_ m、特殊マンホール \_\_\_\_ 箇所の設置工事を発注する予定である。

(3) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

訂正後

10. 立坑関係

(1) No. \_\_\_\_ 立坑は本工事で築造するが、他工区が当該立坑に到達する場合の取り扱いについては、以下のとおりとする。

鏡切り工 \_\_\_\_\_

損 料 \_\_\_\_\_

(2) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

11. 推進工法関係

(1) 本工事区間における土質性状の最大礫径は 20 mm、礫率は 10 %を想定して いる。

(2) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

12. シールド工法関係

(1) 本工事区間における土質性状の最大礫径は \_\_\_\_\_ mm、礫率は \_\_\_\_\_ %を想定している。

(2) 本シールド工事は、発進立坑(到達立坑を含む)と、内径 \_\_\_\_\_ mm、施工延長 \_\_\_\_\_ m の一次覆工工事であるが、別途工事として引続き \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月頃に二次覆工延長 \_\_\_\_\_ m、特殊マンホール \_\_\_\_ 箇所の設置工事を発注する予定である。

(3) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_